



Title	デザイン理論 46号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2005, 46
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/52838
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

デザイン理論 46/2005春

目次

就任にあたって	藤田 治彦	1
選挙管理委員会報告	伊東 徹夫	3

学術論文

河井寛次郎の建築意匠 — 民芸運動による建築的成果 —	石川 祐一	5
視覚文化の中での広告の位置づけ — ベネトン広告を事例に —	興石まおり	21
京都美術協会雑誌に見る明治期・大正期の京都における光琳派について	坂口さとし	37
江戸時代の画論にみる狩野元信の評価	島田 有紀	51
近代日本における商品デザインの展開	神野 由紀	67
— 明治～昭和初期の子供用商品を例に —		
新聞社刊の対外広報誌における戦前から戦後復興期のデザイン	竹内 幸絵	83
— 毎日新聞社『ジャパン・トゥデイ・アンド・トゥモロウ』と『ニュー・ジャパン』 —		
月岡雪斎と工房	西垣 香	99
衣服とそのプレゼンテーション — 三宅一生の A-POC の意義 —	前田 彩子	115
ビル・ヴィオラの映像における身体と時間	余 安里	131

意匠学会第46回大会報告	島先 京一	146
--------------	-------	-----

研究例会・大会発表要旨

第181回研究例会 (2004.10.2 於：京都市立芸術大学)		
大戦間期イギリスにおける大陸モダニズムの受容	菅 靖子	150
— ライマン産業・商業美術学校 —		
第182回研究例会 (2004.5.26 於：京都女子大学)		
上方浮世絵の版元と絵師 — 天満屋喜兵衛を手がかりに —	山本 純子	152
飯田呉服店(高島屋)の『現代名家百幅畫會』(明治42年)について	廣田 孝	154

第46回大会 (2004.11.19・20・21 於：成安造形大学)

プレイベント (11.19)		
1930年代日本における鉄道車輛の流線型について	荒木 泰子	156
— 鉄道省車輛「モハ52」を事例として —		
モードを検証する — 川久保玲・初期の創作にまつわる言説と実際 —	安城 寿子	158
使用痕跡と偶然によるインターフェイス『フェチ・システム』の試作	定国 伸吾・茂登山清文	160
コーディネーションツール「Fグリッド」の研究		
— 「リズムのパターン〈グラデーション〉」の接続方法の類型とその表示 —		
	宮崎いづみ・佐々木俊介・藤野 友和	162
ジョージ・シーガルの人体像をめぐる	原田 紀子	164
初期具体美術協会について	竹澤 秀孝	166

大会発表（11月20日）

サイバースペースの抑圧的な局面について —— 速度、選択、善意、そしてマクダナルダイゼイション ——	島先 京一	168
米国における小型調理家電の発展過程 —— 1920～50年代を中心に ——	面矢 慎介	170
近代輸出工芸の受容 —— 19世紀の在外日本陶磁コレクションを中心に ——	畑 智子	172
芸術家による大衆のためのデザイン —— オメガ工房の前衛性 ——	要 真理子	174

大会発表（11月21日）

浮世絵に描かれた小袖着衣形状についての定量的考察	森下あおい	176
香りと記号 —— 源氏香之図をめぐる ——	岩崎 陽子	178
WIEN 工房100周年記念展に参加して（2003/12）	鈴木 佳子	180

パネル発表

Woody Stripe Venus	小川 忠彦	182
見えないものを見る……ピンぼけ山歩	北辻 稔	184
編集とブックデザインの仕事 1990－2004	佐藤 博一	186
京象嵌協会10周年記念展企画展示 ヒューマンボディデザインの実験 —— 第2幕 —— An EXPERIMENT in HUMANBODY DESIGN —— the second act ——	滝口 洋子	188
Mode de Papier III —— Courbure ——	原田 純子	190
法隆寺金堂壁画「山中羅漢図（3号、7号小壁上）」の原寸復元イメージ画の提案	松田 真平	192
ささやき声によるインスタレーション	山口 良臣	194
「環境デザインの地域的特性を造形との関連性において考察する」・調査報告	吉原 卓男	196

特集パネル発表 —— デジタル時代における手書き表現の意義 ——

「消滅したデジタルと手書きの溝」	井上 直久	198
「感覚を呼び覚ます手描き表現」	永江 弘之	199
「大航海時代から、東西交易の時代に」	田中真一郎	199
「一本の線にも味わいと個性がある」	大原 雄寛	200

書評・図書紹介

要真理子著 『ロジャー・フライの批評理論 —— 知性と感受性の間で』	太田 喬夫	202
ベニー・スパーク著、菅靖子・暮沢剛巳・門田園子訳 『パステルカラーの罫』	渡邊 眞	204
中ノ堂一信編 『すぐわかる 作家別 やきものの見かた』	清水 愛子	208
田中正明著 『デザイン研究ノート』	藤田 治彦	210

投稿規程・執筆要領

編集後記

欧文要旨

表紙デザイン 中野仁人